
aqwin先生と*snow white*先生へのインタビュー記事

ポケポケパン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

aqwin先生と*snOW white*先生へのインタビュー記事

【Nコード】

N36840

【作者名】

ポケポケパン

【あらすじ】

今回はaqwin先生と*snOW white*先生へインタビューを行いました。

皆さま、お久しぶりです。

もし私のことを覚えてくださる読者の方がいましたら、それは私にとって大いな励みとなります。

さて、半年ぶりぐらいのインタビュー企画。まだまだ時間が許す限り続けていこうと思っております。

今回の再開記念としてご協力を承りましたのは「ある笛使いの旅」を執筆されているaqwin先生と「ポケモン ジョウトADVENT」を執筆されている*snow white*先生です。

お二方にはこの場を借りまして、再度御礼申し上げます。

前回と似通った質問がございますが、ブラックホワイトも発売されましたのでそこらへんの変更点はございます。

それではお楽しみください。

・先生はこの「小説家になろう」サイトをどうやって知りましたか？
「ポケモン 小説」で検索していて、このサイトの小説に目を通してからです。

*snow white*先生

「ポケモンのファンフィクションを探している時に偶然見つけました。」

・ポケモンのファンフィクションを書こうと思ったきっかけはなん

でしたか？

a q w i n 先生

「様々なポケモン小説に触れて、頭の中でワンシーンの妄想が飛び交いました。」

その妄想が一つのストーリーとして形を成してきたので、文字にして残さなければもつたいないと思ったからです。」

* s n o w w h i t e * 先生

「他の作者さんの作品を読んでいるうちに自分でも書いてみたくなつたからです。」

・先生の年齢と出身地を教えてください。（任意で構いません）

a q w i n 先生

「年齢は、ヒミツ。……ごめんなさい（汗） 出身地はカントー地方でございます。」

* s n o w w h i t e * 先生

「ホウエン地方の学生で、出身地は海が綺麗なカイナシティです。」

3

・先生のポケモンのファンフィクションを執筆する以外の趣味を教えてください。

a q w i n 先生

「今まさに使っているパソコンで、お気に入りのサイトを渡り歩いたり、音楽・絵・小説に触れる事です。」

あとは、フルート等管楽器を吹いたり、歌を歌うのが好きです。」

* s n o w w h i t e * 先生

「ゲームをしたり、イラストを描いたり、ポケモンのBGMをピアノで弾いたりすることです。」

・一番好きなポケモンの音楽・BGMを教えてください。

a q w i n 先生

「そこに空があるから」これは譲れない。もうめっぽう譲れない。」

いや、やっぱり譲ります。この哀愁に満ちたメロディにぜひとも皆様洗脳されてください。」

*snow white*先生

「アニメではポケモンAGの「スパート」ゲームではポケモンDPの「ポケモンリーグ」です。」

・好きなポケモンのタイプとその理由をお願いいたします。タイプは複数・複合でも構いません。

aqwin先生

「ドラゴンタイプとみずタイプです。前者は謎に満ちた神々しさ、後者は透き通るような繊細さというイメージを持っているから。」

*snow white*先生

「氷タイプです。独特の綺麗な雰囲気が好きなので。」

・新たなタイプの組み合わせをつくるとしたらどういった組み合わせのポケモンが出てほしいですか？

aqwin先生

「「ノーマル&ゴースト」なんてどうでしょう！

この二つのタイプって、双方の攻撃が効かないんですよ。

それらが組み合わさったら何だか面白そうです。フォルムチェンジとかで変わったりして（笑）」

*snow white*先生

「ドラゴン・氷タイプ！と答えようと思いましたが、今はもういますよね（笑）」

ここではあえて氷・電気タイプと答えておきます。」

・先生は話を執筆する際、紙に書き留めますか？ あるいはPC・携帯に直接書き込みますか？

aqwin先生

「執筆という意味では、PCのテキストに直接書き込んでいます。」

ただ普段から小さいメモ帳を持ち歩いているので、ふつと頭に浮かぶようなネタはそこに書き留めています。」

*snow white*先生

「初期は、ただ思いつきでやっていたましたが、今は、大まかな内容を書き留めて、それを参考にしながらケータイで執筆しています。」

・キャラクターを考案する時にヒントを得たもの、あるいはアイデアをもらったことはありませんか？

aqwin先生

「一つはポケモンのゲーム。あえて名を伏せておきますが、このゲームの主人公ポケモンは小さな体の子供で、対して大きな体の二人に囲まれています。」

その家族的な雰囲気魅了されて、わりとすぐに主人公勢の構図が出来上がりました。

もう一つはあるポケモンの小説。笛を持ったヒトカゲ、という内容から「ポケモン+楽器」っていいなと思いました。

主にこれら二つが絡み合っ、できたキャラだと思っています。」

*snow white*先生

「自分の脳内で生み出されたキャラクターばかりですが、たまに友だちに協力してもらっこともあります。」

・一話を書くのに有する時間はどれくらいですか？

aqwin先生

「もはや今では、早くて一週間です。」

遅くて、ですか？ ……………三週間ですっ(泣)」

*snow white*先生

「早くて2〜3時間、遅いときは1週間近くかかります。」

・ポケモン小説以外でポケモングッズに関するちょっと誇示できるようなことはありますか？ aqwin先生

「あるいはポケモンに関して語れるエピソードなどはありますか？
残念ながら、特に自慢できるものはありません。」

語れるエピソードと言えば、何故か自分は、友人の中で「伝説ポケモンGET率」が一番高いようでした。」

*snow white*先生

「ポケモングッズは多く持っていますが、そのなかでもポケモンパ
ンシールが有り得ないくらい多くあります。」

・ポケモンそのものにはいつ、どういったように出会いましたか？

(例：幼稚園の時にテレビで、aqwin先生

「小学生の時にゲームボーイでなど」

小さい頃(詳しく言ったら年バレル)に、兄が持っていた「ポケモ
ン緑」を見て初めて知りました。」

それから友達に誘われて「青」を買い、本格的にやりこみ始めた
のは「サファイア」からです。」

*snow white*先生

「幼稚園の時にアニメを見ていたのがはじまりです。」

ちなみに、ゲームはルビー・サファイアシリーズからです。ゲーム
を遊ぶ少し前までは、かなり毒状態にビビってました。」

・同じポケモンファンフィクション作者として意識、あるいは刺激
をもたらした作者さんたちはいましたか？

aqwin先生

「tomonさんからは、胸が高鳴る戦闘シーンと、ぶっ壊れたキ
ャラ。」

シルバーさんからは、格好いいの一言に尽きるキャラと、緊迫す
る戦闘シーン。」

マグロさんからは、不思議なキャラの関係と、不思議な雰囲気。

みぞれ雪さんからは、「子供」なポケモン達の微妙な心の揺れ動
き。」

春野ツバサさんからは、輝きあふれるキャラ達と、そのやりとり。この他にも、様々な方からたくさん刺激をもらいました。」

* snow white*先生

「ここでは挙げられないくらいたくさん作者さんを意識したり、様々な刺激をもらったりしています。」

・執筆中に特に気をつけているものはありますか？

aqwin先生

「文章を目で追っていく中で、読んでいる方の頭に広がる映像が途切れないように注意しています。」

「あれ？」と思って読み直すのは、つまりは文と文とがうまく繋がっていないわけで。」

そういう部分が続いてしまうと、物語に入り込みづらいうえに嫌になって読むのをやめてしまわれるかも(汗)」

* snow white*先生

「文章力が乏しいので、おもしろさをひたすら追求しています。」

7

・実際にポケモンの世界に行けるとしたならば、手持ちにしたい最初のポケモンはなんですか？(御三家には限りません)

aqwin先生

「カイリユー。基本的におっきいポケモン大好きです。しかも翼を持っている。」

ドラゴンタイプという最強部類の中で、このポケモンのにじみ出る平和オーラにやられたのは、もういつの日の事が覚えておりません。

あのぷにぷにとした腹に”ダイビング”したい。あの頭から出た二本の触角を”くすぐる”したい。

……こほん。そしてあの大きな背中に乗って、空を飛びまわりたいものです。」

* snow white*先生

「ポツチャマです。最初はプライドが高いために苦労しそうですが、なつてからはきつとかわいいと思うからです。投稿・連載してうれしかったことは？」

・ 作品を投稿、連載していて嬉しかったことはなんですか？

aqwin先生

「読者様から感想を頂いた時なんて、もう叫び声を上げたくありません！ 例）フオオオ！！」

感想の文章の中で「こういうところが好きです」と具体的に指摘して下さいたりして、とても参考になります。

もちろんそれだけではなく、評価がついたりお気に入り登録された時にも叫び声を上げたくありません（時々上げます）

*snow white*先生

「他の作者さんたちから感想やアドバイスをもらったことです。はじめて感想をもらったときは涙が出るほどうれしかったです！

あと、だんだん読者が増えてきたというところもうれしく思っています。」

・ 思い入れの深い話とキャラクターを教えてください。（例：一番書くのに苦労した、一番楽しかった、いろいろと試行錯誤をしたが結局断念したプランなど）

aqwin先生

「ええと、どれくらいの文字数をここに書いていいかわからないのですが。今こそ語りましょう。断念したプランです。

まず主人公のカラム（ヨーギラス）。彼は笛を扱う”笛使い”という一族なのですが、当初はピカチュウにしようかな、と思っておりました。

主な理由として、ピカチュウには長い耳があり”耳がよい”という特徴が分かりやすい。さらに笛を吹くにあたって必要な”指”をその手に持っているからです。

ただ、他の方々の小説の中であまりにもピカチュウの主人公ポジションが多いので、あえてヨーギラスにしました。上で挙げたようなメリットを全面的に無視してです。

序盤で「五本指を持つ」とか語っちゃいましたが、あれ無視していいです。どうか無視してください！ せめて「少し手の形が変わっている」程度の認識で！

続いて、笛の音色の効果。当初は「自然を操る」というものではなく、「対象の強化」でした。”疾風の調べ”（風）なら素早さUP、”大地の調べ”（地）なら防御UPといったように。

でもそれって、ゲームならまだしも小説としては。主人公の立場があまりにも薄くなってしまうんです。そのためカットカットカットオオ！ です。

他には「異様に軽い」、「隻眼」、「オッドアイ」、「怒るとバングラスに変身」、「言葉をしゃべれない」……等々。長々と語ってしまい、すみませんでした。」

*snow white*先生

「思い入れの深い話はリナが初ゲットの際にモンスターボールと間違えてナナシの実を投げる話です。

考えた自分でさえ思わず笑いたくなってしまいます。

書いていて楽しいのはリナ、苦労するのはユウヤです。

イトは比較的普通ですかね……。」

・もし自分がポケモンの技を一つ習得できるのであれば、何を選びますか？ その理由も添えてください。

aqwin先生

「「いやしのねがい」ですね。自分を犠牲にして他の命を救う、という効果が大好きです。

でも一つしか習得できないなら自爆技でしかないですね（笑）」

*snow white*先生

「「ゆびをふる」です。何が出るのか分からないので、ユーモアがあつて楽しい技だと思えます。
バトルには不向きですけどね……。」

・もし自分がポケモンだとしたら、野生のままでもいいですか？
それともトレーナー或いはコーディネーターのポケモンになりたいですか？ その理由と、もしトレーナー（コーディネーター）のポケモンが良かったらどんな主人がいいですか？

aqwin先生

「野生のままがいいですね。例え危険に満ちている世界でも、束縛されるよりはましだと思います。」

でも孤独なわけじゃなくて、仲のいい別のポケモンと一緒にいたりして。」

*snow white*先生

「しばらくは野生でのびのびと暮らすと思いますが、サトシのようなトレーナーに出会ったらきつとついていくと思います。」

・モンスターボールを使ってポケモンを初めて捕まえる時、どういう風にゲットしますか？（バトルで弱らせる、毒や睡眠をかける、説得する、仲良くなってからetc）

aqwin先生

「仲良くなつて、あちらが自ら加わりたいといってきたら、優しくボールを投げる。」

やっぱり無理やりにゲットするのは心が痛みます。」

*snow white*先生

「ある程度そのポケモンと仲良くなつてから、最後はバトルでゲットします。」

・ポケットモンスターブラックまたはホワイトはプレイされましたか？ プレイされましたらご感想を、もしプレイされていなかった

らBWについてのご感想をお願いいたします。

aqwin先生

「実はまだプレイしていないです。発売されてからすぐに動画で全ポケモンに目を通して、まず最初に抱いた感想は「これポケモンじゃないでしょ」。

でも今となつては段々馴染んできて、好きなポケモンもいっぱい見つかりました。タブンネとかチラーミイとかとっても可愛いです。

」

*snow white*先生

「私はブラックのほうをプレイしました。最初のポケモンはツタージャです。

完全新作ということもあって、自分としてかなり楽しむことが出来ました。ストーリーもワクワクさせられるものだったし、なんといつてもバトルのバリエーションが増えたことがうれしかったです。はじめてトリプルバトルをした時は、ポケモンバトルの奥深さを改めて感じました。

一言で言うと、最高に楽しかったです!!!」

・aqwin先生は笛使いをキーワードとした小説を執筆されていますが、先生自身何か楽器をやってらっしゃるのでしょうか？

aqwin先生

「先程述べたように、フルートを主としてやっています（ただし最近サボリ気味）

かじった程度ならオカリナ、ハーモニカ……とまあ、自慢できるほど経験しているわけではないのですが。

管楽器の透き通る音色が大好きです！まさかこの趣味が小説に関わるとは思いませんでしたとさ。」

・snow white*先生は絵もお描きになりますか、絵を描く時にも注意している点がありますか？

* snow white*先生

「キャラのことをよく知ってもらうために、キャラごとの特徴が被らないように注意しています。あと、あまりセンスはよくありませんが、どんな服を着せるかということもよく考えています。」

・好きなポケモンを五つ教えてください。

aqwin先生

「カイリユウ、カビゴン、ベロベルト、フライゴン、ライチュウ。基本的にどつしりとした可愛い容姿のポケモンが好きです。」

* snow white*先生

「各地方から一匹ずつ挙げるとすれば、カントー　フリーザー
ジョウト　エーフィ　ホウエン　フライゴン　シンオウ
ポッチャマ　イツシュ　バイバニラ　です。青っぽいポケモンが多いような……」

・先生にとってポケモンとはなんでしょう？

aqwin先生

「架空の世界ながら、大小問わず輝いている命を持った存在。……ちよつと臭いですね、すみません。」

* snow white*先生

「かけがえない一生の親友です!!」

・オーキド博士よろしくポケモン川柳を一ついただけますか？（これは任意で構いません）

aqwin先生

「ヨーギラス　頭のツノは　急所だよ」

* snow white*先生

「バイバニラ　アイスじゃないよ　ポケモンだ」

・読者の皆様には是非一言お願いいたします。

aqwin先生

「いつも読んで下さって、どうもありがとうございます。」

頂く感想のメッセージなどに特に励まされています。

こんな特異な設定と、加えて致命的な更新速度ですが、これからもお付き合いいただけたら嬉しいです。」

*snow white*先生

「どうも、*snow white*です。「ポケモンジョウトADVENT」を読んでくださってありがとうございます。」

未だにバジが一個でかなり展開が遅いですが、最後まで読んで下さると嬉しいです!!

亀更新ですが、これからもどうぞよろしく願います!!」

以上が今回の記事となりました。

もし暇ができましたら、新たな先生方にメールでご協力をお願いするかもしれません。その時はよろしく願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3684o/>

aqwin先生と*snow white*先生へのインタビュー記事

2010年10月17日23時11分発行